

令和5年度 学校評価 自己評価 (2学期)

1 学校の重点課題

- 【正】○ 主体的・対話的で深い学びの推進と基礎基本の定着
- 【健】○ 個々の体力・運動能力の向上と生活リズムの確立を目指した保健指導(安全指導・給食指導を含)の推進
- 【愛】○ 一校一改善の指導の徹底と心を育む生徒指導の推進

2 課題と改善策

| | | 具体的方策 | 評価 | 改善の方策等 |
|---|---|---|-----|---|
| 学 力 向 上 | 1 | 基礎基本を確実に定着 | 3.2 | ・WEB問題や過去問, 補充問題(アシストシート)等の活用を繰り返して実施し, 定着を図る。 ・確実な基礎基本の定着を図るための家庭学習の内容の工夫と家庭との連携を図る。 ・発達段階に合わせた学習のしつけを全学級で指導の継続を行う。 |
| | 2 | 学年に応じた表現力の育成 | 3.0 | |
| | 3 | 少人数・複式学級の指導法の工夫・改善, 個別指導 | 3.6 | |
| | 4 | 学習の態(学習準備, 聞く姿勢, 机上の整理, 書く姿勢等)の定着 | 3.0 | |
| | 5 | 個に応じた家庭学習の内容等の充実に努めているか。(学年×10分+20分) | 3.2 | |
| 生 徒 指 導 | 1 | アサーショントレーニングやSSTを取り入れた指導 | 3.8 | ・土曜授業日のスマイルタイムで児童の実態に即して計画的なSSTを実施する。 ・児童一人一人の作品にコメントを記入したり, 定期的な掲示物の更新をしたりして教室環境の改善に努める。 ・継続的なアンケートや積極的な面談の実施, 日々の日記等からいじめの早期発見, 解消に努める。 ・児童との関わりで気付いたことや言葉の遣い方については, 些細なことでも報告連絡し, 職員間で連携を深め指導に当たる。(子供の心の声を聞けるようにする) ・教児ともに図書室へ行き, 継続した読書活動を推進する。 |
| | 2 | いじめの発見につながるようなアンケートや個別面談等を実施と早期発見, 早期解消 | 3.7 | |
| | 3 | 学年に応じた図書の選択, 冊数等, 読書好きな子供の育成に向けた読書指導 | 3.6 | |
| | 4 | 一校一改革「あいさつ」, 2学期の一事徹底項目「廊下歩行」の指導 | 2.9 | |
| 保 健 指 導 ・ 体 力 向 上 | 1 | むし歯の治療率100%, むし歯ゼロ, 生活リズムの定着 | 3.2 | ・むし歯ゼロに向け給食後のブラッシング指導を継続し, 家庭との連携に努める。(見届け) ・朝活動時間を活用した一校一運動「一輪車」指導と仲良し体育を利用したチャレンジかごしまの結果登録(1月10日まで)を実施する。 ・休み時間の安全指導と定期的なKYT指導を行い, 危険予知能力を高める指導を実施する。 ・活動後や給食前の手洗いの見届けと, 冬季における換気と教室の温度, 児童の服装等に配慮する。 |
| | 2 | 一校一運動「一輪車」やチャレンジかごしまへの積極的取組 | 3.1 | |
| | 3 | 校内外の事故防止をめざした安全指導, KYT指導 | 3.5 | |
| | 4 | 給食の準備や片付け, 食事のマナー等の給食指導 | 3.7 | |

3 3学期に向けての取組

- テーマ研修の研究の視点に基づいた検証授業を繰り返し, 「運動好きな皆与志っ子の育成」を目指して, 単元を通してわくわくタイムを実施し, 材料集めを行う。(黒板を活用しためあてや一単位時間振り返り等体育の時間の流し方の共通実践を今のうちに定着させる)
- 一校一改革「あいさつ」と, 3学期一事徹底事項「はきもの」への取組を通して日常生活のしつけに取り組んでいく。
- 定期的なSSTと機会を捉えた教育相談を実施することで, 一人一人を大事にし自己肯定感が高い子供を育てていく。
- 一校一運動への取組を継続し体力の向上を図り, 皆与志の良い伝統自主トレに積極的に取り組ませていく。